

NPAFC 国際ワークショップ「さけ・ます類幼魚の海洋における生残戦略」の開催案内

標記の国際ワークショップが 2006 年 4 月 26-27 日に札幌で開催されますのでお知らせします。詳細については NPAFC ホームページ (<http://www.npafc.org/>) を参照ください。多数の方にご参加いただき、活発な研究発表、討論や国際交流が行われることを期待しております。

テーマ：Second NPAFC International Workshop on Factors Affecting Production of Juvenile Salmon: Survival Strategy of Asian and North American Juvenile Salmon in the Ocean (さけ・ます類幼魚の生産に影響する要因に関する第 2 回 NPAFC 国際ワークショップ：アジア系及び北米系さけ・ます類幼魚の海洋における生残戦略)

主催：北太平洋溯河性魚類委員会 (NPAFC)

日程：4月26日(水)

- 09:00-14:00 受付
 - 09:30-17:00 口頭発表
 - 09:00-17:00 ポスター発表
 - 18:30-20:30 懇親会(サッポロビール園)
- 4月27日(木)
- 09:00-16:30 口頭発表
 - 09:00-15:40 ポスター発表

場所：北海道大学 学術交流会館(札幌市北区北 8 条西 5 丁目) 1 階 小講堂(口頭発表)とホール(ポスター発表)

趣旨：

さけ・ます類の生活史の中で、海洋生活開始直後の幼魚期は最も減耗が起きやすい時期である。幼魚の生残機構、初期加入量や摂餌成長などの解明は、さけ・ます類の資源変動メカニズムを理解し、適正な資源管理を行う上で必須である。幼魚が生息する沿岸環境は、地域により大きな違いがある。日本沿岸、オホーツク海、ベーリング海東西沿岸及びアラスカ湾沿岸などで幼魚を中心とした研究が精力的に行われ、新しい調査技術(大量耳石標識や音響トラッキングアレーなど)の導入などにより多くの知見が得られている。これらの成果について情報交換を行い、さけ・ます類幼魚の生残戦略に関する理解を深める。

トピックス：

- 2001-2005 年に行われたさけ・ます類幼魚研究の国別概要
- さけ・ます類幼魚の季節的分布と移動
- さけ・ます類幼魚の食物連鎖、摂餌と成長変動
- 気候及び気候変動がさけ・ます類幼魚と海洋生態系に与える影響
- さけ・ます類幼魚の資源量と生残推定
- パネルディスカッション：さけ・ます類幼魚の生残戦略の地域比較と将来研究

プログラム：

口頭発表とポスター発表が合計 54 題予定されています。NPAFC ホームページにプログラムと要旨が掲載されていますので参照ください。

参加申込方法：

NPAFC ホームページよりオンラインで申し込む。あるいは同ホームページより参加申込書をダウンロードし、メール、FAX あるいは郵便で NPAFC 事務局に送付する。空席があれば当日も受付しますが、なるべく事前にお申し込みください。

参加申込期限：2006 年 3 月 24 日(金)

参加料：50 米ドル(学生割引あり)

問い合わせ・申込先：

NPAFC Secretariat
Suite 502, 889 West Pender Street,
Vancouver, B.C., V6C 3B2, Canada
Tel: +1-604-775-5550, Fax: +1-604-775-5577
E-mail uoya@npafc.org (日本語でも可能)
<http://www.npafc.org/>

国内問い合わせ先：

さけ・ます資源管理センター
遺伝資源研究室
浦和茂彦
TEL (011) 822-2341
E-mail, urawa@affrc.go.jp

(遺伝資源研究室 浦和茂彦)